

地域包括ケア病棟 CKD 教育入院のお知らせ

CKD教育入院では、患者さんやそのご家族に、腎臓病の正しい知識を身につけて頂き、入院中に日常生活を見直すことができるよう、チームで指導・支援します。

- **腎臓専門医**

専門の医師が腎臓病についての講義をします。入院中に行った検査結果をもとに今後の治療方針を決定します。

- **管理栄養士**

腎臓病の食事療法についての講義と、入院中に腎臓病食を食べて頂き、実際の食事量や味付けを確認します。

- **看護師・臨床検査技師**

予備知識を習得するため、日常で起こりやすい症状を紹介します。腎臓病を上手くコントロールするために、日常生活で心がけてほしいことを説明します。また、腎不全が進行した場合のご自身の生活スタイルにあった今後の治療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）の選択ができるように支援します。



(CKD教育入院スケジュール)

1日目(水曜日)	入院日 オリエンテーション・腎臓病の説明パンフレットをお渡し。 内服薬指導・調整(薬剤師・腎臓内科医)、畜尿検査
2日目(木曜日)	腎臓病の講義(腎臓内科医)・食事栄養指導(管理栄養士)
3日目(金曜日)	腎臓病の説明(看護師)・生理検査(心エコー、頸動脈エコーなど)
4日目(土曜日)	血液測定の指導・透析療法の説明(看護師)
5日目(日曜日)	
6日目(月曜日)	退院日(昼過ぎ) 畜尿検査・血液検査 CKD教育入院結果説明・総括(腎臓内科医)



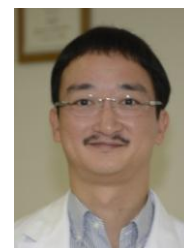
(利用された患者さんの声)



最初、入院と聞いて嫌だったけど、入院しなければこんなにじっくり勉強できなかったと思います。ありがとうございました。

CKDって?

CKDは、Chronic Kidney Disease(慢性腎臓病)の略で、糸球体濾過量(GFR)で表される腎機能の低下が3カ月以上あるか、もしくは腎臓の障害を示唆する所見が慢性的(3カ月以上)に持続するものすべてを含んでいます。腎臓障害を示す所見として、(1)蛋白尿などの尿の異常、(2)片腎や多発性嚢胞腎、腎結石などの画像所見異常、(3)腎機能障害などを示す血液検査異常、(4)異常病理所見があげられています。CKDの重要な問題点は、末期腎不全・透析療法へと進行することと、CKDの病期が進むほど、心血管疾患の発症リスクが上昇することがあげられます。早くからCKDに対する正しい知識を身に付けて頂くことで、少しでも透析になるのを遅らせたり、心血管病変の合併症を防ぐことが可能となります。(腎臓内科部長 中谷 公彦)



CKD教育入院についてのお問い合わせは、地域医療連携室へお願いします。

電話：0774-72-0235

ファックス：0774-72-0574